

令和7年度 学校評価結果表（自己評価・学校関係者評価）

諫早市立森山東小学校

【児童へのアンケート集計結果】

※ 左側は、児童による自己評価を平均化したものです。右側は、関連のある項目について、保護者と教師が評価したものを示し、児童による自己評価と比較しています。
 ※ 評価方法…右の基準によって、評点欄に4～1までの数字で評価する。〔4；よくあてはまる 3；あてはまる 2；あてはまらない 1；全くあてはまらない〕

No	評価内容 児童用アンケート質問項目	児童評価		保護者アンケート の関連評価内容	保護者評価		教師評価		児童・保護者・教師アンケート結果による考察
		7年度	前年度		7年度	前年度	7年度	前年度	
1	学校は楽しいですか。	3.5	3.3	保護者アンケート1	3.3	3.1	4.0	3.8	○左8項目のうち、7項目にわたり保護者評価が向上している。また教師評価も6項目が向上している。このことから学校の教育活動に対し保護者からの肯定的評価が向上したといえる。特にアンケート1の「学校が楽しい」では、児童・保護者・教師とも0.2ポイント向上しており、家庭と学校が一体となって子どもの教育に取り組んだことの表れだと考察できる。 ○さらに、懸案事項であった「あいさつ」についても家庭・教師ともに評価が向上したことは、学校内外でのあいさつの向上が見られたとの印象とも一致する。気持ちの良いあいさつが地域に広がるよう今後指導を継続する。 ○次年度も学校の取組をわかりやすく発信し、家庭の協力を得ながら、課題の解決や目標の達成に向けて力を尽くしてまいります。
2	学習中に先生や友だちの話をよく聞いていますか。	3.4	3.6	保護者アンケート3	3.2	3.1	3.8	3.9	
3	学習や宿題をがんばっていますか。	3.6	3.7	保護者アンケート4	3.0	2.9	3.4	3.1	
4	元気なあいさつをしていますか。	3.4	3.4	保護者アンケート5	3.2	3.0	3.4	3.3	
5	学校や家庭でよく本を読んでいますか。	2.9	3.2	保護者アンケート6	3.1	3.2	3.8	3.6	
6	休み時間、外で元気よく遊んでいますか。	3.3	3.3	保護者アンケート7	2.9	2.8	3.3	3.0	
7	朝ごはんをきちんと食べていますか。	3.5	3.8	保護者アンケート8	3.0	2.9	3.1	3.2	
8	学校であったことを、家の人に話していますか。	3.4	3.4	保護者アンケート11	3.3	3.2	3.6	3.4	

【保護者・教師へのアンケート集計結果】

保護者へのアンケート集計結果 回収率 70.0%					教師へのアンケート集計結果 回収率 100%					
項目	No	評価内容	7年度	前年度	7年度	前年度	No	評価内容	7年度	前年度
子どもの様子	1	子どもは、楽しく学校に通っている。	3.3	3.1	4.0	3.8	1	好ましい友達関係づくりに励み、楽しく登校できるように努めた。		
学校の取組	2	学校は、望ましい人間関係を目指して指導し、いじめ防止の取組を行っている	3.0	2.9	4.0	3.9	2	学校は、望ましい人間関係を目指して指導し、いじめ防止の取組を行っている。		
①学力の向上	3	学校は、基礎基本の定着にむけて熱心に取り組んでいる。	3.2	3.1	3.8	3.9	3	基礎基本の定着について熱心に取り組んでいる。		
	4	子どもは、宿題などを通して、家庭学習の習慣が定着している。	3.0	2.9	3.4	3.1	4	子どもは、宿題などを通して、家庭学習の習慣が定着している。		
②心の教育の充実	5	子どもに、優しい心など道徳的な心情や態度が育っている。	3.2	3.0	3.4	3.3	5	子どもに、優しい心など道徳的な心情や態度が育っている。		
	6	学校は、読書活動の推進に努めている。	3.1	3.2	3.8	3.6	6	学校は、読書活動の推進に力を入れている。		
③基本的生活習慣の向上	7	子どもは、運動の習慣が身につけている。	2.9	2.8	3.3	3.0	7	子どもは、運動の習慣が身につけている。		
	8	子どもは、早寝早起き朝ご飯の習慣が身につけている。	3.0	2.9	3.1	3.2	8	子どもは、早寝早起き朝ご飯の習慣の習慣が身につけている。		
④環境作り	9	学校は、学習環境（掲示物、花壇等）が整っている。	3.2	3.2	3.8	3.3	9	学校は、学習環境（掲示物、花壇等）が整っている。		
	10	花いっぱい为学校づくりに取り組んでいる。	3.0	3.0	3.8	3.3	10	花いっぱいの学校づくりに取り組んでいる。		
⑤地域・家庭との連携	11	学校は学校の取り組みや様子を通信などをおしてわかりやすく伝えている	3.3	3.2	3.6	3.4	11	学校は、取組やその様子を、通信などを通してわかりやすく伝えている。		
	12	学校は、地域の素材や人材を活用した教育活動を行っている。	3.1	3.1	3.7	3.4	12	地域の素材や人材を活用した教育活動を行っている。		
⑥特別支援の推進	13	学校は、子どもの特性に応じた支援をしている。	3.1	2.9	3.8	3.5	13	学校は、子どもの特性に応じた支援をしている。		

【地域へのアンケート集計結果】

項目	No	評価内容	7年度	前年度	地域の声	
地域・家庭との連携	1	学校は、指導方針を明確に持ち、わかりやすく伝えている。	4.0	3.9	○8項目中、5項目で昨年度より評価が向上している。特にうれしいのは「子どもたちは地域の人に進んで挨拶をしている」の項目が0.7ポイントアップしていることである。数年来の懸案であった地域でのあいさつが大幅向上したことは、学校、家庭、地域が課題を共有し、一体となって取り組んだ結果である。今後も継続して取り組む。 ○さらに項目6では、地域の方がこれまでより進んで子どもたちに声をかけてくださっていることがうかがえる。大変ありがたいことである。 ○以下地域の方からの声である（文体を常体に変更） ・地域の一員として子どもたちを育てるお手伝いができればよいと思っている。学校行事など広く地域に呼びかけていただきたい。 ・自転車に乗っている子どもたちはしっかりヘルメットを着用している。 ・持続可能なPTAの在り方を模索されているということで、安心している。 ・学力向上に先生方が一丸となって取り組んでいただき、感謝している。	
	2	学校は、学校の取り組みや様子を通信などでよく知らせている。	3.6	3.8		
	3	学校は、行事や授業を参観する機会を多く設けている。	3.4	3.7		
	4	学校は、調べる活動や発表する活動に力を入れて取り組んでいる。	3.7	3.7		
	5	学校は、地域の素材や人材を活用した教育活動を行っている。	3.8	3.7		
	6	地域では、子どもたちにあいさつしたり、声かけをしたりするようにしている。	3.8	3.5		
子どもの様子	7	子どもたちは、地域の人に進んであいさつをしている。	3.6	2.9		
	8	子どもたちは、地域の行事に参加している。	3.0	2.9		

【保護者からのご意見・ご要望】→太字及び下線は学校の回答

①	避難訓練で火事や地震を想定したものはされているようですが不審者侵入を想定した訓練はしないのでしょうか？ 令和6年度及び7年度は実施しておりません。不審者等の学校侵入に対応するため、令和8年度中の実施を検討します。
②	欠席の連絡は安心メールでも可にしてほしいです。時期によっては中々繋がらないです。 ご不便をおかけし申し訳ございません。児童の健康状態把握のため、今後も直接電話でご連絡をお願いいたします。
③	現在の指定シューズについてですが、改良後のサイズが大きくなり、シューズ袋に入らなくなってしまいました。また、購入先がJAに限られているため、買い替えの際に不便を感じています。可能であれば、一般的なシューズへの変更していただけると大変助かります。ご検討いただけますと幸いです。 ご意見ありがとうございます。変更については学校一存では決定できませんので、PTA及び各方面との相談の上、検討いたします。
④	夏休み明けの持ち物についてですが、図書館の貸し出し本や工作など、始業式当日に持参する物が多く、子どもが持ち運ぶのに負担を感じています。可能であれば、提出日を分けていただく、もしくは数日に分散して持参できるようご配慮いただけると大変助かります。ご検討いただけますと幸いです。 長期休業明けの提出物の分量について、児童の負担にならないよう分散して提出できるようにいたします。
⑤	下校時の送迎について 車で迎えに行つた際、児童が「乗せてください」と乗車してることがあります。保護者の方がご存じない場合もあるようで、万が一事故などがあった場合の責任を考えると不安を感じます。また、集団で下校している場合には、原則として徒歩で帰宅するようご指導いただくと安心です。あわせて、保護者同士で事前の約束がないまま児童を車に乗せることがないよう、注意喚起をしていただくと助かります。歩いて帰宅するものと思っていたところ、他の保護者の方の車で送っていただいていたことがあり、対応に困ったこともありました。安全面とトラブル防止の観点から、ご配慮・ご指導をご検討いただけますと幸いです。 下校方法については、あらかじめ家庭で話し合い、ルールを決めたくらいでそれを守るようご指導ください（登下校は原則として徒歩でお願いします）。尚、他の保護者に児童が「乗せてください」という状況は、ご指摘の通り安全確保とトラブル防止の観点から、そのようなことのないよう学校でも指導いたします。

【学校関係者評価をうけての学校の改善策】

学校の改善策	1	学校安全のため、令和8年度は避難訓練の一環として、不審者対応訓練を実施予定。
	2	入学式、卒業式、運動会だけでなく、その他の行事についても広く地域の方に開催を知らせる。
	3	学力向上にこれまで以上に取り組む。学年末には全学年の児童が成長を実感できるよう、弱点克服および作文能力の向上のため、ドリルタイムやデジタルドリルのこれまで以上の活用、読書活動の継続（縦読みの推奨）、授業研修の活性化に取り組む。
	4	すべての教育活動の前提となる安心・安全な学校の実現のため、いじめ防止へ向けての取組徹底や児童や保護者及び教職員の相談体制の確立（アンケートの年3回実施、スクールカウンセラーの活用など）、そして外部機関（医療機関、行政、警察）などとの連携を通し、対応強化を図る。
	5	やればできるという達成感、「やってみよう」というチャレンジ精神の醸成、そして失敗にへこたれないたくましい児童の育成のため、チャレンジ集会やなわとび集会、ノートチャレンジデー（仮称）の開催を通して、学校が楽しいということすべての子どもに実感させる。